

テトテトテトテテ



校長だより 令和4年7月 NO. 3

全国のろう学校とつながれ！ペンタゴン交流会

今年は、観測史上最も早い梅雨明けとなり、一気に夏がやってきました。

畑や花壇に植えたひまわりは、太陽に向かってぐんぐん成長し、私の背をはるかに超えて、間もなく大輪の花を咲かせようとしています。

小学部の児童は、このひまわりの栽培と記録をとおして、交流及び共同学習に取り組んでいます。



ろう学校では、全国的に在籍者数の減少、小規模化が進み、児童相互の学びの場の確保が課題となっています。この課題解決に向け、昨年度、愛知県立岡崎聾学校の発案で、遠隔システムを活用した「ペンタゴン・プロジェクト」が立ち上がりました。筑波技術大学のサポートを受けながら、岡崎聾学校、北海道旭川聾学校、島根県立浜田ろう学校、熊本県立熊本聾学校による5校による遠隔合同授業「ペンタゴン交流会」が行われました。本校は、今年度「島根のろう学校チーム」として、このプロジェクトに加わりました。

浜田ろう学校から送られてきたひまわりの種を植え、観察記録をとおして、各校との情報交換、交流が始まっています。また、学校給食でも、愛知県のもろこしうどん、熊本県の太平燕(タイピーエン)の「ご当地給食」を食し、感想を送っています。

7月7日には、「ペンタゴン交流会」の事前学習として、浜田ろう学校との遠隔合同授業を実施しました。高学年の児童が参加し、じゃんけん大会、クイズ、ゲームなどの活動を楽しみました。



「ペンタゴン交流会」をとおして、校外の同年代の聴覚障がいのある友だちができることは素晴らしいことです。この活動をとおして、より主体的・対話的な学びの実現をめざし、実践を積み重ねていきたいと考えています。